

2022 年度 年次活動計画書

- 【1】 ダイアログ・イン・ザ・ダーク 及び ダイアログ・イン・サイレンス の開催**
・ミュージアム「対話の森」及び神宮外苑「内なる美、ととのう暗闇」会場にて開催
- 【2】 ダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」に名称変更**
・ミュージアム設立 3 年目に入るタイミングで、よりダイバーシティを深化させるねらいの元、名称を上記に変更する。
- 【3】 体験型写真展「第九のきせき」開催**
・ホワイトハンドコーラス NIPPON の活動を表した写真家・田頭真理子氏撮影の写真展「第九のきせき」。聴覚障害の子どもたちの手歌から音楽が聴こえてくる。また、ダイアログ・イン・ザ・ダークでは期間限定で暗闇の中でベートーヴェンの第九交響曲を聴くコンテンツを実施。
- 【4】 リアル対話ゲーム「地図を持たないワタシ」開催**
・日本初、オリジナルコンテンツである新プログラムを 7/20～8/10 に開催。
これまでの視覚障害者、聴覚障害者の案内役に限らず、車椅子ユーザー、小人症、LGBTQ 等、多様なマイノリティの方がキャストになり、参加者をアテンドしていく。
人が皆、自分の中で地図を定め、定点を決めていることを一度手放し、違う誰かの定点から社会を見つめ直すことで気づきや成長の機会を提供していく。
- 【5】 ダイアログ・ウィズ・タイム開催**
・70 歳以上の後期高齢者が案内役となり、「生き方との対話」を深めていく。
ミュージアム設立時に開催予定がコロナ禍で延期となり、今年度秋に開催予定。
- 【6】 「5,000 人の子どもたちをダイアログに」プロジェクトを継続**
・コロナ禍で人との繋がりが希薄になっている現状を踏まえ、多様な人と出会い「対話」を通して学びの場を提供する。他者と助け合うことや相互理解、認め合うことのできる機会を創出とする。
-体験による効果を可視化するため荻上チキさんとコラボレーションし、数字で検証していく。
(一般社団法人社会調査支援機構チキラボ代表、NPO 法人ストップいじめ！ナビ代表)

※ 【5】 に関しては、新型コロナウイルス感染症の感染者数増加を踏まえて、2023 年開催に延期といたしました。2022 年 8 月決定